

# 日本産材の利用で低炭素社会実現を！ 木材活用産業の展示=提案

**出展募集**

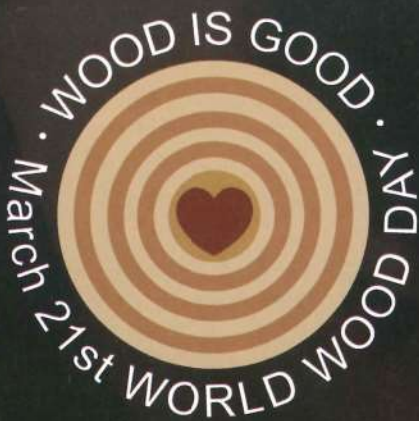
**時代の理念を形で示す**

2020年3月17日(火)～19日(木)

**TRC** (東京流通センター)

**ワールド・ウッド・デー  
2020東京  
～ウッドレガシー～  
木の総合文化展**

2020年3月20日(金)～22日(日)  
文京シビックセンター(東京)



# レガシー

## ワールド・ウッド・デー 2020東京 ～ウッドレガシー～ 木の総合文化展

3月17日(火)から3月19日(木)まで  
東京流通センター

3月20日(金)から3月22日(日)まで  
文京シビックセンター  
(コンサートチケットは有料販売)

記念式典

3月21日(土)  
文京シビック大ホール

### プログラム

木の音楽祭とコンサート  
こども教室と木育  
木彫ショー  
ウッドターニング実演  
民俗・伝統技術ワークショップ  
ウッド・デザイン  
国際青少年木工選抜プロジェクト  
共同創作プロジェクト  
シンポジウム  
写真とビデオ展示会  
植樹活動  
日本の竹、竹細工、伝統的木製品  
日本産材の利用で低炭素社会実現を!  
木材活用産業の展示=提案  
合板、繊維板、LVL、不燃木材、集成材  
建具、家具、杉・檜丸太、製材品、木工機械

### 世界木材デー(World Wood Day)とは

100国以上から専門家と職人が集まり、木材と持続可能な未来を促進する文化的なイベントです。2013年からタンザニア、中国、トルコ、ネパール、アメリカ、カンボジア、オーストリア等、世界を巡って毎年開催しています。

主催 国際木文化学会 (IWCS)



ワールド・ウッド・デー基金会 (WWDF)



共催 木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会 (LWCPC)



# 木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会の考え方

2020年オリンピック・パラリンピック招致委員会は木材利用を公約して、東京五輪を招致しています。

日本独自の「木の文化」を発信するショーウィンドーとして、新国立競技場の建物は「杜のスタジアム」のコンセプトに則り、環境を重視した大会として、低炭素社会を目指し、木材の活用を図ることを全世界にコミットメントします。

戦後73年を迎える今日、日本の森林の自然環境の循環が大きく変化しつつあります。

IPCCの公表やCOP24の取組課題は地球環境規模で環境主題の視点であらゆる生産・建設・消費に於いて、温暖化対策にシフトした政策の推進が求められます。

又、持続可能な社会の実現を目指して人間の安全保障SDGs17項目を発信致します。

## 川上・川中・川下の連携

木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会は、環境の見地から林業・木材産業に関係する川上・川中・川下の団体等の連携・協議を密に行い、日本産材の振興を図り、成長産業化する政策の立案、及びその効果の実施について、国民の目線、企業の視点で提案して行きたいと思っています。

自然環境に大きな影響を及ぼす、大気中の二酸化炭素削減の役割が森林率67%の日本が世界に先駆けて、地球温暖化対策の推進に取組む意義があります。

又、当業界の立位置が今世紀から地球環境に大きな影響を与えることとなります。

## 青少年に将来の夢を

こうしたイベントを通して、大人から子供まで幅広く木の総合文化を伝え、国民に木を知って、身近に感じてもらうことが、木材の断熱性、保湿性、調湿など、私達の生理や情緒に作用することを理解していただければと思っています。

特に青少年が木に興味を持ち、将来、木の研究者や木造建築物の建築家を目指す人材育成に繋がっていけば幸いです。

## 地球の温暖化削減と災害発生減少

地球温暖化を防ぐ一番の対策は、日本国土の67%の森林を保有するいわば森林大国が森林の自然環境の循環を元に戻し、成長した木を伐って植えて、伐って植えて、を繰り返す、木の光合成を活用してCO<sub>2</sub>を吸収していくことが、子孫に豊かな環境という富を残し、地球温暖化防止に一番貢献すると同時に、毎年続く災害発生を少なくする方法と考えます。

再生可能な自然環境を維持し保全する環境の視点が重要です。

## 地震、台風の頻発国としての取組課題

大きな目標を達成して行く為には、環境の見地から昔から守ってきた森林文化、木を育てる文化、木を使用する文化をもう一度見直し、日本産材の活性化に努めていくことが大事な取組課題と考えます。

## 木の5大総合文化

- 木を植えるために、伐る文化
- 木を育てる文化
- 木を適材適所に造材し加工し、使う文化
- 森林の恵みをレジャーとして楽しむ文化
- 自然の恵みに感謝をして神々にお祈りする文化を達成しよう

## SDGs 17項目

1. 貧困をなくそう
2. 飢餓をゼロに
3. すべての人に健康と福祉を
4. 質の高い教育をみんなに
5. ジェンダー平等を実現しよう
6. 安全な水とトイレを世界中に
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに
8. 働きがいも 経済成長も
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう
10. 人や国の不平等をなくそう
11. 住み続けられるまちづくりを
12. つくる責任 つかう責任
13. 気候変動に具体的な対策を
14. 海の豊かさを守ろう
15. 陸の豊かさを守ろう
16. 平和と公正をすべての人に
17. パートナリシップで目標を達成しよう

# 日本産材の利用で低炭素社会実現を 木材活用産業の展示=提案 出展募集のご案内

木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会(LWCPC)は、IWC S (国際木文化学会)、WWDF (ワールド・ウッド・デー基金会)と共催で、東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年3月21日(国連が定めた「国際森林デー」)を核として『ワールド・ウッド・デー2020東京 ウッドレガシー木の総合文化展』を開催します。

＊世界木材デー 3月21日 環境にやさしいバイオマテリアル、木材に対する一般の認識を高め、持続可能な未来のための研究と責任ある利用を奨励するため定められた記念日です。世界木材デーは、100を超える国・地域から専門家と技能者・技術者が集い、木材と持続可能な未来を促進する文化イベントとして、2013年のタンザニアを皮切りに中国、トルコ、ネパール、米国、カンボジアと毎年開催され、2019年はオーストリア、第8回目にあたる2020年は日本で初めて開催され、開催テーマは「レガシー」(遺産)です。

## 2020年3月17日(火)～19日(木) 東京流通センター (TRC)

当協議会は産業展示として、日本産材利用による、合板、繊維板、LVL、不燃木材、集成材、建具、家具、杉・檜丸太、製材品、木工機械等の展示を予定しています。合わせて、海外の関係機関・団体との協賛、協力を得て、世界各地の木の文化に関わる工芸品、ドキュメンタリー等を紹介します。

## 2020年3月20日(金)～22日(日) 文京シビックセンター (東京)

IWC Sのプログラムは木の音楽祭とコンサート、こども教室と木育、木彫ショー、民族・伝統技術ワークショップ、国際青少年木工選抜プロジェクト、シンポジウム、写真とビデオ展示会等々の行事が行われます。

今回のご案内はワールド・ウッド・デー2020東京の一環として開催する「日本産材の利用で低炭素社会実現を！～木材活用産業の展示=提案」への出展を募集するものです。会期は2020年3月17日(火)から19日(木)までの3日間、会場は東京・平和島のTRC(東京流通センター)です。時代の理念を次代の形とする産業の提案を広く募ります。

■ 展示期間 2020年3月17日(火)～19日(木)

■ 会場 TRC(東京流通センター) 第二展示場  
(東京都大田区平和島6-1-1)

■ 募集小間数 全35小間 (1小間3×3m)

■ 小間料金 (小間当り)	会 員	200,000円
	賛 助 会 員	250,000円
	一 般 出 展 者	300,000円

(消費税別)

ご出展は左頁に掲げる当協議会の考え方に応えるご提案、ご提言を具現化する内容(製品・技術・アイデア等)とさせていただきます。詳細は下記連絡先までお問い合わせ頂き、ふるってご応募下さいませようお願い申し上げます。

■ 申込先 (一社) 木の総合文化・ウッドレガシー推進協議会  
〒174-0071 東京都板橋区常盤台4-13-3  
電話 03-3550-6311 FAX 03-3550-6319  
E-mail post@nisshin-koosan.co.jp